

*本リリースは2026年5月20日にサンフランシスコにて発表されたリリース (<https://corporate.visa.com/en/sites/visa-perspectives/newsroom/visa-spring-2026-biannual-threats-report.html>)の抄訳です。



NEWS RELEASE

2026年6月9日

Visa 脅威動向レポート: ネットワークセキュリティが強化される中、 犯罪者は AI を活用したソーシャルエンジニアリングへと急速にシフト

「半期脅威動向レポート(2026年春期)」では、決済セキュリティの強化により犯罪の手口が AI を活用したソーシャルエンジニアリングへとシフトしている実態が明らかに

米国サンフランシスコ (NYSE: V) — デジタル決済の世界的リーダーである Visa は、「[Spring 2026 Biannual Threats Report \(半期脅威動向レポート 2026年春期\)](#)」を発表しました。本レポートでは、犯罪者が AI やソーシャルエンジニアリングの活用を拡大し、消費者自身に決済を実行させる手口を強化していることを背景に、スキーム(詐欺)が消費者被害の中で最も急速に拡大している分野となっていることが明らかになりました。

本レポートは、Visa のグローバルネットワークから得られたインテリジェンスに基づいており、不正の潮流における重要な変化を示しています。ネットワークレベルでのコアとなる決済セキュリティが引き続き強化される一方で、犯罪者は技術的なシステム侵害から、人の信頼を悪用する手口へと軸足を移しています。

2025年7月から12月の間に、Visa は約10億ドル規模の詐欺関連の活動を特定しており、詐欺は消費者向け決済不正の中で最大のカテゴリーとなりました。従来の不正とは異なり、こうした攻撃は必ずしも技術的な侵害を必要としません。代わりに、犯罪者は信頼できるブランドや機関になりすまし、緊急性を演出して被害者を欺き、一見正当に見える取引を被害者自身に実行させることで被害を生み出しています。

Visa のチーフ・リスクアンドクライアントサービス・オフィサーであるポール・ファバラ(Paul Fabara)は次のように述べています。「ネットワークレベル全体として決済の安全性は着実に向上しています。しかしながら、脅威はこれまで以上のスピードで進化しています。犯罪者は技術ではなく人を標的にし、欺きや緊急性、AI を活用した手法によって信頼を悪用しています。この変化に対応するためには、ネットワークレベルでの継続的なイノベーションと、銀行、加盟店、政策立案者、そして決済エコシステム全体での連携が不可欠です。」

世界の決済における脅威の構造を形作る4つのトレンド

「半期脅威動向レポート(2026年春期)」では、世界の決済セキュリティを大きく変化させている、最新の4つの主要トレンドをまとめています。

- **セキュリティは機能しているが、不正は別の領域へ移行**
デバイストークンを利用した不正は、2025 年 7 月から 12 月において前年同期比で 9.6%減少しました。これは、攻撃全体の件数が引き続き増加している中、認証の強化やネットワークレベルでの保護が有効に機能していることを示しています。
- **詐欺は加速**
詐欺は現在、消費者にとって最大の脅威となっています。犯罪者はシステム侵害よりも、ソーシャルエンジニアリングを優先する傾向を強めています。
- **AI は攻撃側と防御側の双方を変革**
犯罪者は AI を活用して、より巧妙で説得力のある詐欺を大規模に実行しています。一方、防御側でも AI の活用が進み、取引のより早い段階で不正を検知・阻止する取り組みが強化されています。
- **ランサムウェアの構造変化**
グローバルでのランサムウェアの攻撃件数は、2025 年 7 月から 12 月において前年同期比で 26%増加しました。一方で、身代金の支払いに応じた被害者の割合は 23%と過去最低水準となっています。これは、防御や復旧能力の向上に加え、支払いの有無に関わらずデータが漏洩するリスクへの懸念が背景にあります。

Visa のペイメントエコシステム・リスクアンドコントロール部門のシニア・バイスプレジデントであるマイケル・バーバラ (Michael Jabbara) は次のように述べています。「AI の急速な普及により、不正に参入するハードルは大きく下がりました。かつては高度な技術が必要だったことが、今では簡単なプロンプトだけで実行できてしまう状況です。この現実には、インテリジェンスに基づく防御と、エコシステム全体での連携の重要性をこれまで以上に高めています。本レポートを通じて、Visa はリーダーの皆様へ、不正が消費者に及ぶ前に対策を講じるための示唆を提供したいと考えています。」

Spring 2026 Biannual Threats Report の日本語版は以下よりご覧いただけます。

[半期脅威動向レポート\(2026 年春期\)](#)

また、Visa によるグローバル決済エコシステム保護の取り組みの詳細については、[Visa.com/security](https://www.visa.com/security) (英語) をご参照ください。

【Visa について】

Visa は電子決済の世界的リーダーとして、世界 200 以上の国と地域における決済取引によって消費者、事業者、金融機関や政府機関をつないでいます。Visa のミッションは、最も革新的かつ利便性や信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。私たちは、世界中のすべての人にとっての包括的な経済こそが、世界中の人々の生活を向上させ、経済へのアクセスが決済の未来へつながると信じています。詳しくは、[Visa.com](https://www.visa.com) (英語サイト) または www.visa.co.jp (日本語サイト) をご覧ください。